

切手偏見



長寿切手の年輪を読む 国土緑化切手

戦後の混乱期、早大切手研が生まれた頃から現在まで発行を続けている長寿な4種類の特殊切手がある。国民体育大会71歳、国土緑化70歳、切手趣味週間70歳、国際文通週間60歳の4種である。

今回は、国土緑化運動切手を整理した。この切手の70歳という年齢の数え方には不安がある。この切手の年輪から発芽の年を誤解していた。国土緑化=全国植樹祭と理解していたことが誤りであった。1895年(明治28年)に始まった植栽日が1933年に愛林日となった植林運動が戦時中断後1950年全国植樹祭として引き継がれている。ところが国土緑化切手の発芽と考



えてきた1円20銭の切手(図1)は全国植樹祭実施の2年前1948年に発行されており、いろいろ考えさせる切手である。まず、発行目的の表記がなく意匠に緑がない切手であり、発行目的はシート(30枚シート、図2)に「荒れた国土を平和な緑で」という標語とともに全国緑化運動と表記され国土緑化の語は使用されてない。この切手標語に謳われた平和を具体的に示すかのように追放切手の引換を呼びかけるポスターの図柄に用いられており(図3、図4)、終戦直後の社会を偲ばせる切手と記憶し



図2. 30枚シートに発行目的と運動標語



図3. 全国緑化運動切手を平和のシンボルに用いた追放切手の引換を呼びかけるポスター



図4. 追放切手の一部



縦に植林と表記

図5. 1949年発行の植林を啓蒙する切手2種

たい。また、このころ植林が国にとって急務であったのであろう、翌1949年には国土緑化と表記された特殊切手に加え、「植林」と表記された普通切手が産業切手シリーズ切手(図5)として発行され、翌1950年に国土緑化運動の中心的行事として都道府県を巡る植樹祭が行われることになった。しかし、前年まで発行されて

いた特殊切手はその後 15 年間発行されず、この間、1959 年国土緑化 10 周年を記念する特殊はがきが発行されている（図 6）。1965 年の国土緑化運動 16 回植樹祭には特殊切手が発行されたが（図 7）、続かず 1971 年国土緑化運動第 21 回 全国植樹祭に発行されてからは、今日まで続き、同時期に発行が始まった国民体育大会切手、切手趣味週間切手とは違った発行経緯のある長寿切手になっている。



図 6. 全国緑化運動の記念特殊はがきの額面意匠
1959 年発行 1968 年、1969 年、1970 年発行はがき

このように始まった 70 歳長寿切手（正確には 47 歳？）の年輪を調べると、表 1 の様にこの間の成長にいくつかの変化がみられる。

切手としての変化を年輪から読むと特殊切手として発行されていたのが、2001 年（第 52 回植樹祭）国土緑化の発行からはふるさと切手として発行されている。2011 年発行の中に国際森林年記念切手（図 8）が発行され、国土緑化の表記はされていない。また、発行当初、はがき料金の額面で発行されたが翌年から封書料金の額面で変更されていたのが、1991 年以降はがき料金の額面に再びもどされている。



図 7. 1965 年植樹祭ではなく国土緑化運動の 15 周年（第 16 回植樹祭）を記念する意味で発行された国土緑化記念切手

サイズは大きく 4 種類で発行されている（図 9）。最初は普通切手サ



図 8. 2011 年発行国土緑化切手 10 種の中で発行された国際森林年記念の切手



図 9. 1991 年発行 国土緑化切手で封書料金でなく初のはがき料金の額面切手



図 9. 国土緑化切手サイズの 47 年間の推移
その後の 10 年の平均約 2000 万枚に比べ 3 倍の発行枚数である。

次に、切手に表記された内容を整理してみた。まず、発行目的表記はすべてにみられ、2000 年に国土緑化 50 周年、1985 年に国際森林年の記念を表記しており、国際森林年の扱いが 2011 年と異なった扱いである。このほかの文字表記に発行年、植樹祭実施都道府県名がある。この 2 つの表記にはかなり変化がみられ、特定の期間では両者に関連があると、お分かりいただけるかと思います。

発行年の表記は表記なし、西暦表記、西暦・元号表記の 3 種類があり、西暦に後から元号を追加表記する形が始まり、最近 10 年は西暦・元号表記で発行されている。発行年表記は表記無から表記有へとは推移しないで、2 回（正確には 3 回）年表記が消された期間がみられる。

植樹祭の都道府県名表記は 1992 年を除き、2001 年まで表記がされていない。ここで注意されるのが 1992 年発行国土緑化切手である。表 1 の様に、この年だけ発行年が消え、そして、この年だけ 9 年早く都道府県名の福岡県が表記

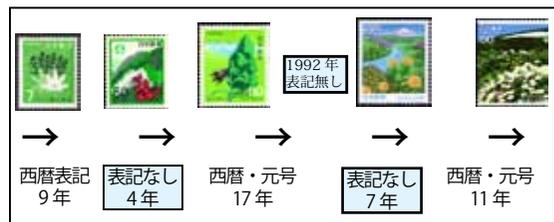


図 10. 発行年表記内容の推移

表 1. 国土緑化関連切手の整理表

	発行年	植樹祭	切手種類	目的表記	額面	対象料金	サイズ	発行月	発行枚数	発行年表記	県名	主な意匠	背景
1	1948年	実施無	特殊切手	無	1.2円	封書	25.5*30.5	4	52	無	無	樹木	
2	1949年	実施無	特殊切手	有	5円	封書	25.5*30.5	4	300	無	無	樹木	
3	1965年	第16回	特殊切手	有	10円	封書	30.5*34.5	5	2400	西暦	無	樹木・陽光	
4	1971年	第22回	特殊切手	有	7円	はがき	20.5*22.5	4	5000	西暦	無	県木	
5	1972年	第23回	特殊切手	有	20円	封書	20.5*22.5	5	10000	西暦	無	県木(花)	
6	1973年	第24回	特殊切手	有	20円	封書	20.5*22.5	4	10000	西暦	無	県木	
7	1974年	第25回	特殊切手	有	20円	封書	20.5*22.5	5	5000	西暦	無	県木	岩手山
8	1975年	第26回	特殊切手	有	20円	封書	20.5*22.5	5	5100	西暦	無	県木	
9	1976年	第27回	特殊切手	有	50円	封書	20.5*22.5	5	5000	西暦	無	県木	筑波山
10	1977年	第28回	特殊切手	有	50円	封書	20.5*22.5	4	5000	西暦	無	樹木・陽光	
11	1978年	第29回	特殊切手	有	50円	封書	20.5*22.5	5	5000	西暦	無	県木・虹・マーク	足摺岬
12	1979年	第30回	特殊切手	有	50円	封書	20.5*22.5	5	5000	無	無	県木・マーク	鳳来寺山
13	1980年	第31回	特殊切手	有	50円	封書	20.5*22.5	5	5000	無	無	樹木・花	御在所岳
14	1981年	第32回	特殊切手	有	60円	封書	20.5*22.5	5	5000	無	無	県花	若草山
15	1982年	第33回	特殊切手	有	60円	封書	20.5*22.5	5	5000	無	無	樹木・マーク	伊吹山
16	1983年	第34回	特殊切手	有	60円	封書	25.5*30.5	5	3000	西暦, 元号	無	県木・県花	白山連峰
17	1984年	第35回	特殊切手	有	60円	封書	30.5*25.5	5	3000	西暦, 元号	無	県木(花)	桜島
18	1985年	第36回	特殊切手	有・森林年	60円	封書	30.5*25.5	5	2500	西暦, 元号	無	県木・県花	阿蘇山放牧
19	1986年	第37回	特殊切手	有	60円	封書	30.5*25.5	5	2500	西暦, 元号	無	樹木・マーク・鳥	仁徳天皇陵
20	1987年	第38回	特殊切手	有	60円	封書	30.5*25.5	5	2500	西暦, 元号	無	樹木・鳥	虹の松原海
21	1988年	第39回	特殊切手	有	60円	封書	30.5*25.5	5	2500	西暦, 元号	無	県木(花)	屋島海
22	1989年	第40回	特殊切手	有	62円	封書	25.5*30.5	5	2000	西暦, 元号	無	県木・県花	剣山
23	1990年	第41回	特殊切手	有	62円	封書	30.5*25.5	5	2100	西暦, 元号	無	県花	雲仙岳
24	1991年	第42回	特殊切手	有	41円	はがき	25.5*30.5	5	2100	西暦, 元号	無	県木・県花	平等院
25	1992年	第43回	特殊切手	有	41円	はがき	25.5*30.5	5	450	無	福岡	県花・鳥	松延堤と砥上岳
26	1993年	第44回	特殊切手	有	41円	はがき	25.5*30.5	4	2200	西暦, 元号	無	県花・鳥	サンゴ礁
27	1994年	第45回	特殊切手	有	50円	はがき	30.5*25.5	5	2200	西暦, 元号	無	県木・県花	
28	1995年	第46回	特殊切手	有	50円	はがき	25.5*30.5	5	2200	西暦, 元号	無	県木・県花	宮島
29	1996年	第47回	特殊切手	有	50円	はがき	25.5*30.5	5	2200	西暦, 元号	無	樹木・県花	高層ビル群
30	1997年	第48回	特殊切手	有	50円	はがき	25.5*30.5	5	2500	西暦, 元号	無	県花	蔵王のお釜
31	1998年	第49回	特殊切手	有	50円	はがき	25.5*30.5	5	2500	西暦, 元号	無	県花・マーク・魚	清流ヤマメ
32	1999年	第50回	特殊切手	有	50円	はがき	25.5*30.5	5	2500	西暦, 元号	無	花	富士山天城山
33	2000年	第51回	特殊切手	有50周年	50円	はがき	25.5*30.5	4	2500	西暦, 元号	無	県木・県花・鳥	九重連山
34	2001年	第52回	ふるさと	有	80円	はがき	30.5*25.5	5	590	無	山梨	樹木・花・蝶	みずがき山麓
35	2002年	第53回	ふるさと	有	50円	はがき	25.5*30.5	5		無	山形	県花	月山、最上川
36	2003年	第54回	ふるさと	有	50円	はがき	25.5*30.5	5		無	千葉	県木・県花・児童	
37	2004年	第55回	ふるさと	有	50円	はがき	25.5*30.5	4		無	宮崎	花	西都原古墳
38	2005年	第56回	ふるさと	有	50円	はがき	30.5*25.5	5	1000	無	茨城	花	筑波山
39	2006年	第57回	ふるさと	有	50円	はがき	25.5*30.5	5	800	無	岐阜	県花・蝶	乗鞍
40	2007年	第58回	ふるさと	有	50円	はがき	25.5*30.5	6	800	無	北海道	県木・県花	支笏湖樽前山
41	2008年	第59回	ふるさと	有	50円	はがき	28.5*35	6	100	西暦, 元号	秋田	樹木・花	森吉山三階の滝
42	2009年	第60回	ふるさと	有	50円	はがき	28.5*35	6	100	西暦, 元号	福井	県木・県花	10種発行
43	2010年	第61回	ふるさと	有	50円	はがき	28.5*35	5	120	西暦, 元号	神奈川	県木・県花	10種発行
44	2011年	第62回	ふるさと	有	50円	はがき	28.5*35	5	130	西暦, 元号	和歌山	県花・蝶	10種発行
45	2012年	第64回	ふるさと	有	50円	はがき	28.5*35	5	130	西暦, 元号	山口	県木・県花	9種発行、1種記念
46	2013年	第65回	ふるさと	有	50円	はがき	28.5*35	5	120	西暦, 元号	鳥取	県木・県花	10種発行
47	2014年	第66回	ふるさと	有	52円	はがき	28.5*35	5	110	西暦, 元号	新潟	県木・県花	10種発行
48	2015年	第67回	ふるさと	有	52円	はがき	28.5*35	5	90	西暦, 元号	石川	県木・県花	10種発行
49	2016年	第68回	ふるさと	有	52円	はがき	28.5*35	6	100	西暦, 元号	長野	県木・県花	10種発行
50	2017年	第69回	ふるさと	有	62円	はがき	28.5*35	5	80	西暦, 元号	富山	県木・県花	10種発行
*	2011年	第63回	ふるさと	国際森林年	50円	はがき	28.5*35	5	130	西暦, 元号			



図 11. 前後年の国土緑化切手と異なる文字表記の1992年国土緑化切手

されただけでなく、発行枚数が極端に少ないという特異な発行である。

最後は、切手の意匠・デザインの推移である。結論から言うと、緑化運動を啓蒙する樹木、森林を描く切手から、ふるさとPR、花で購買促進を図る切手へと変貌してしまっただけかと思ってしまうほどの変化がみられる。変則的に

始まった国土緑化切手は樹と葉のデザインが描かれていた。それが植樹祭開催と発行を合わせることが1971年から始まった結果、植樹祭開催地のシンボル樹＝県木とシンボリックなランドマークが加えられて、拡大サイズの切手発行へとなった。

サイズが大きくなると、県花が県木と並ぶか、むしろ県木より前面に目立って描かれるようになり、加えて県の鳥＝県鳥が飛び、蝶が舞い、有名建造物が建つ切手までが散見されるようになる。



図 12. 1971年発行植樹祭が2県で行われたため島根県県木クロマツと広島県県木モミジが描かれている。モミジは県花でもある。



図 13. 1971年発行植樹祭開催県、新潟県の県花ユキツバキが描かれているが、ユキツバキは県木でもある。

このような意匠対象の混乱を考慮したのか、2008年からはサイズ、意匠に加え発行種数も変えて発行され、植物に限定した切手になった。

その内容は表2のように花図鑑か植物図鑑(図16)のようである。しかし、この図鑑、シート



図 14. 国土緑化の表記がなければ、ふるさと切手、花切手かと思わざるを得ない国土緑化切手



図 15. 1986年仁徳天皇陵を背景にモズ(大阪府鳥)、1994年ノジギク、コウノトリ、クスノキの兵庫県シンボルを配した切手、国土緑化の表記がなければ愛鳥週間切手かと思わざるを得ない国土緑化切手



図 16. 鳥でなく蝶を配して、国土緑化＝自然保護と考えさせる含みがあるのか

でなくては植物名が分からないという致命傷を持っている。切手でなくシートとして切手発行内容を表現することが感じられる。ついでに植樹祭内容と切手の関連を植樹祭のお手植え、お手播き内容と照合したが関連は無いようである。今後も三大行幸、行啓行事として国体切手と並んで発行が続けられることを考えると(他は全国豊かな海づくり大会)、やはり国土緑化の観点を重視し、樹木、植林、森林の持つ多くの役割を訴える意匠の切手発行を期待したい。

長寿切手を集め整理すると切手だけでなく、元号使用等から社会の動きも感じられる。他の長寿切手を整理してみたい。(編集子)

表 2 最近 10 年の国土緑化関連切手

年	植樹祭県	花	樹花	紅葉	樹葉	樹木	樹実	自然	合計
2008年	秋田県	5		4				1	10
2009年	福井県	8		1		1			10
2010年	神奈川県	3	3	2		2			10
2011年	和歌山県	2	3		2	1	1		9
2012年	山口県	4	3	2	1				10
2013年	鳥取県	4	1			1	4		10
2014年	新潟県	8			2				10
2015年	石川県	6	2			1	1		10
2016年	長野県	5	2			1	2		10
2017年	富山県	7	2			1			10
	合計	52	16	9	5	8	8	1	99



図 16. 名前がない切手植物図鑑の写真
花、樹花、紅葉、樹葉、樹木、樹実、自然・滝
チューリップ、スタジイ、イチヨウ、ヒノキ、ケヤキ、ダイセンキャラボク